

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:69



2016 年 2 月

NPO 法人 日本バスケットボール振興会



BASKETBALL STREET

渋谷センター街では、スポーツ振興と青少年の健全育成を基本理念に、国際色・ファッション性を考え合わせ、メイン通りの名を「バスケットボールストリート」とし、2012年 秋にはシンボルとなるモニュメントも設置いたしました。

5年10年と時をかけて、、、
この「バスケットボールストリート」通称「バスケ通り」
を定着させていきたいと考えています。



バスケットボール ストリート



渋谷センター街

目 次

○ 第91回天皇杯・第82回皇后杯・・・・・・・・・・・・・・・・	2
全日本総合選手権大会の結果	
○ J X-E N E O S ウィンターカップ 2015 ・・・・・・・・	8
第46回全国高校選抜優勝大会結果	
○ 第67回全日本大学選手権大会・・・・・・・・・・・・・・・・	13
インカレ 2015 は筑波大がアベック制覇	
○ リオ・オリンピック男子世界最終予選・・・・・・・・	15
F I B A男子最終予選組み合わせ決まる	
○ 特 集	
スペシャルオリンピックス ・・・・・・・・ 普及部 ・・	17
スペシャルオリンピックス世界大会開催 ・・・・ 内藤清正 ・・	18
○ 人物抄	
堀 堅次さん・・・・・・・・・・・・・・・・	22
○ 会員だより	
バスケットボール湘南だより（その13）・・・・ 中瀬達雄 ・・	24
○ 12月21日はバスケットボールの日・・・・・・・・ 普及部 ・・	26
全国31ヶ所で行事開催！広がるバスケの日	
○ 事務局だより・・・・・・・・・・・・・・・・	28
○ プラザこぼればなし・・・・・・・・・・・・・・・・	29

第91回天皇杯・第82回皇后杯

全日本総合選手権大会の結果

[編集部]

お正月恒例のこの大会は、1月1日から大田区総合体育館、駒沢体育館、代々木体育館において開幕、男子36チーム、女子32チームが出場して多彩なゲームを展開、1月5日からの中休みを挟んで、1月9日に代々木第一体育館にて男女準決勝、1月10日に女子決勝、11日に男子決勝を最終戦として閉幕した。

昨年はFIBAによる国際試合禁止処分の影響からか観客の出足が鈍かったが、それらが解消された今回は元旦からまだら模様ながらも観戦者が訪れてそれなりに観客も戻り、特に最終3日間は多数の観客を集めた。

1～2回戦は高校代表や地方代表、学生チームなどが顔を出したが、ベスト8に残ったチームはNBLやWJBLのチームで、試合内容や得点において力の差を感じさせた。

注目された高校生チームは、男子において選抜大会優勝の明成高校が鹿屋体育大学を破って2回戦へ進んだが、その先はNBLチームに歯が立たなかった。女子では選抜大会優勝の岐阜女子高校が1～2回戦で大学生チームを破って3回戦へ進み、WJBLのトヨタ紡績サンシャインラビッツに第3ピリオドまで善戦して敗れ去ったのが印象的であった。

大学生チームでは男子でインカレ2位の東海大学が3回戦へ進み、昨年の覇者日立サンロッカーズ東京に前半1点をリードしたが、第3ピリオドから激しい攻撃を受け75－88で敗れた。

男子ではベスト4が拮抗し、どのチームが優勝してもおかしくない状況だったが、地力に優るアイシンシーホース三河が決勝でリンク栃木ブレックスを制して5年ぶり9回目の優勝を果たした。

女子ではJX-Eneosサンフラワーズが、日本を代表する渡嘉敷選手、間宮選手、吉田選手を擁して突出した優勝を飾り、準決勝に残った3チームが拮抗した形。決勝戦では昨年同様デンソーアイリスがJX-Eneosサンフラワーズに挑んだが一方的な試合展開となってしまう興味がそがれた感じ、同じWJBLのチームなのだから今少し食いつくような試合展開が欲しかった。

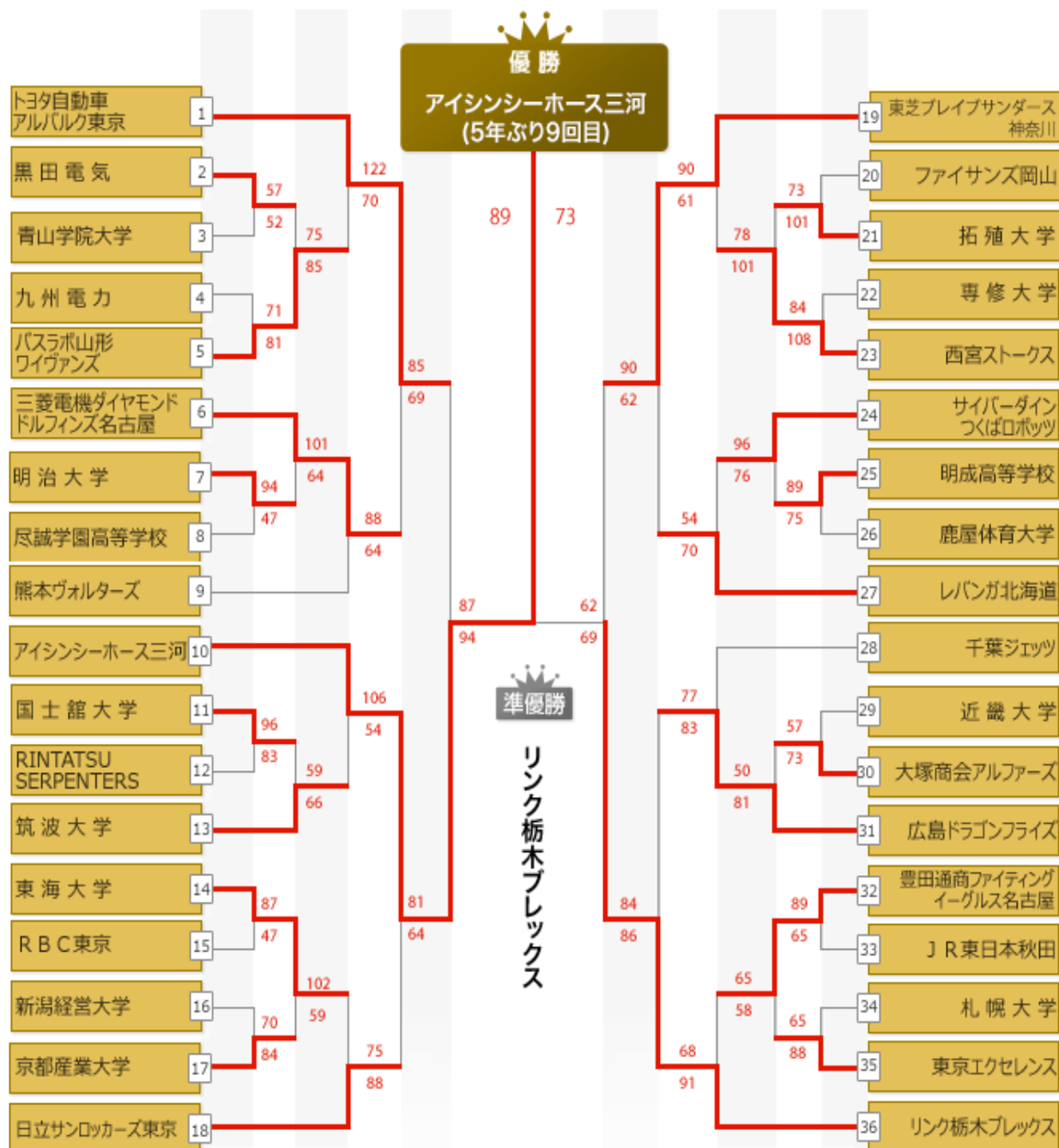
JX-Eneosサンフラワーズは3年連続20回目の優勝で、選手層の厚さや中心選手の高度な技術がそのまま安定した勝利につながっている。

大正時代に始まったこの大会は男子で90回を超え、出場チームの変遷など伝統ある選手権大会で、トーナメント方式という一発勝負から、どのチームも試合に臨む態勢に真剣さと熱気を感じる。しかしながら男女とも3回戦まではワンサイドゲームが目立ち、歴然とした力の差もあって、敗者チームに諦めムードが強い。

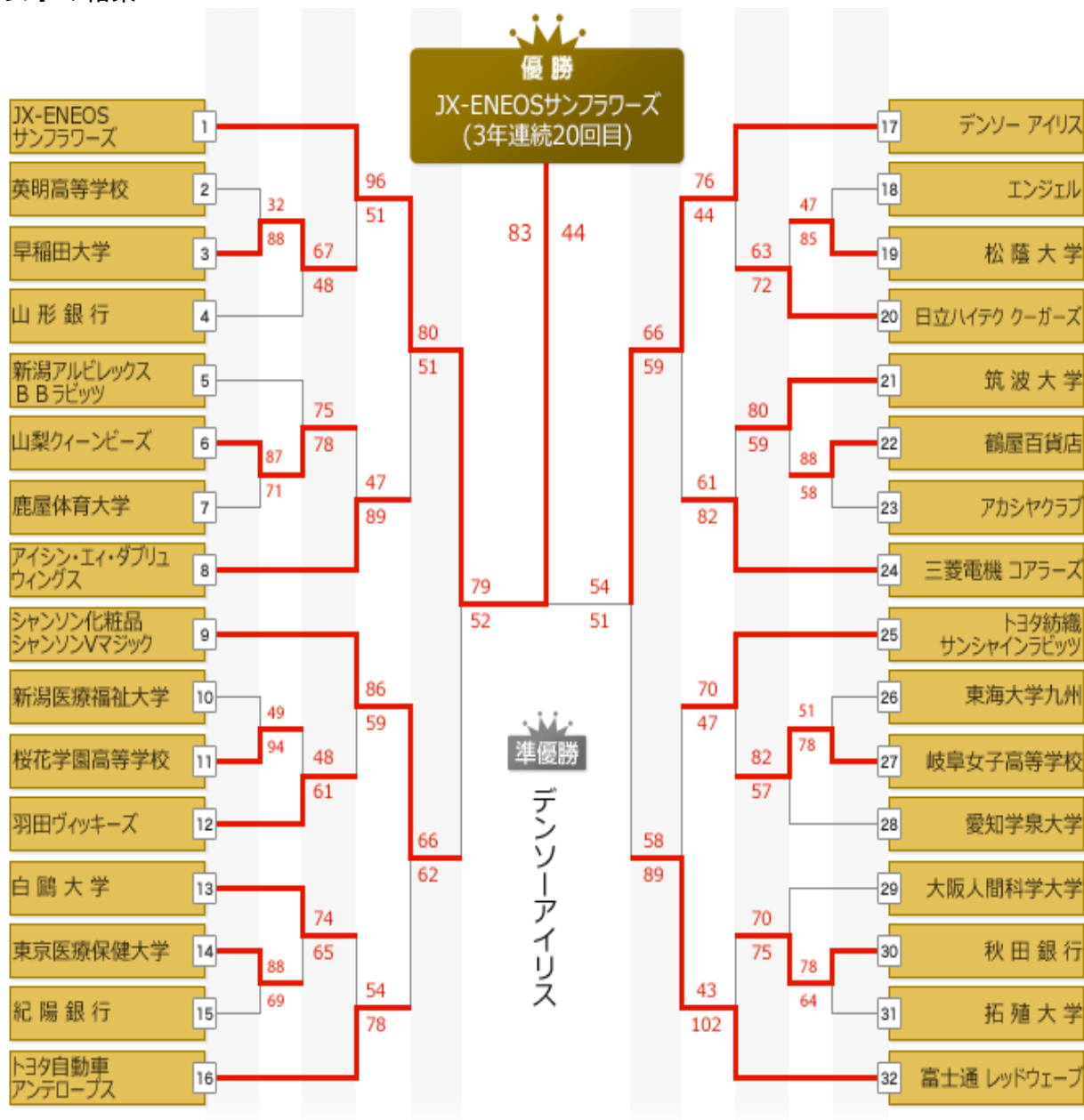
特に大学生チームにおいては、諦めることなく果敢にトップリーグチームにアタックして欲しいもの。その点で男子東海大学が3回戦で日立サンロッカーズに善戦したことは特筆される。



男子の結果



女子の結果



<注目試合>

1月 1日 男子 1回戦

	1P	2P	3P	4P	計
明成高	26	17	20	26	89
鹿屋体大	14	28	13	20	75

高校選抜大会優勝の明成高が大学生チームに挑む1回戦、鹿屋体大は出だし好スタートを切ったが、明成高は#8 八村をはじめとする猛攻で連続16得点を挙げて逆転する。第2ピリオド以降も逆転が多く白熱戦を展開、前半は明成高が1点のリード。

後半明成高が#8 八村らが頑張って少しずつリードを広げたのに対して、鹿屋体大はシュ

ートが決まらなくなり、結局 14 点差で高校生が大学生チームを破る快挙となった。ちなみに明成高#8 八村はこの試合 42 点を挙げる奮闘を見せた。

1 月 1 日 女子 1 回戦

	1P	2P	3P	4P	計
岐阜女子高	22	23	23	10	78
東海大九州	19	9	10	13	51

暮れの高校選抜大会優勝の岐阜女子高が大学生に挑む展開かと思いきや、試合は高校生の一方向的な勝利となった。出だし東海大九州がリードしたものの、その後は岐阜女子高の#7 ファターのインサイド攻撃を主体に得点を重ね、前半で 45-28 と高校生が大幅リードする。後半に入っても岐阜女子高の攻撃は止まらず第 3 ペリオドで 31 点のリードを奪うと、第 4 ペリオドにはベンチの控えメンバー全員を投入して快勝。



1 月 2 日 女子 2 回戦

	1P	2P	3P	4P	計
山梨クインビーズ	18	17	21	22	78
新潟アルビレックス	12	16	22	25	75

社会人 3 位の山梨が W J B L チームに挑んだ一戦は、接戦を制した山梨に軍配が上がった。序盤連続得点などでリードする山梨に対して新潟は今一つ調子に乗れず、一時的に詰め寄るものの山梨ペースの前半。後半、新潟も流れをつかんで得点を重ね、第 3 ペリオドで 50-56 と差を詰め、第 4 ペリオドに同点とするが、山梨がタイムアウト後体制を立て直し一歩前へ出てそのまま逃げ切った。山梨クインビーズは来シーズン W J B L に復帰するという明るい話題もある。

1 月 3 日 女子 3 回戦

	1P	2P	3P	4P	計
トヨタ紡織	16	16	24	14	70
岐阜女子高	10	13	22	2	47

波に乗る岐阜女子高が W J B L のチーム相手にどう戦うか興味があったが、開始間もなくからトヨタ紡織の厳しいディフェンスにあって思うような攻撃ができない。第 2 ペリオドに 5 分間無得点のトヨタ紡織に対して岐阜女子高は、#9 藤田や#7 ファターらが果敢に攻めて 2 点差まで追上げる。しかしハイライトはここまでで、その後トヨタ紡織は連続 6 得点で 32-23 として前半終了。後半に入ってもこのペースは変わらずトヨタ紡織がリードを 2 桁に広げると更にディフェンスを強化する。

第 4 ペリオドに入ると岐阜女子は固いディフェンスの前に無理なシュートを打つしかなく、このペリオド#9 藤田の 2 点のみにとどまり完敗となった。

1月 3日 男子3回戦

	1P	2P	3P	4P	計
広島ドラゴンフライズ	20	29	21	13	83
千葉ジェッツ	22	10	19	26	77

NBLチーム同士の戦いとなったこの試合、序盤はわずかにリードする千葉だったが第2ピリオドに入ると広島の良いディフェンスに阻まれて得点が止まる。対する広島はアウトサイドからのシュートがよく決まり、点差が開いて前半を終える。

後半に入っても千葉のシュートはリングに嫌われ、広島の内外バランスの良い攻撃に翻弄され、点差を詰めることができない。第4ピリオド千葉は#34 小野や#2 富樫の踏ん張りなどで得点を重ね6点差まで詰めるが時間が無くなって万事休す。千葉は第2ピリオドの拙攻が最後までたたった。

1月 9日 女子準決勝

	1P	2P	3P	4P	計
デンソー	12	15	15	12	54
富士通	12	12	12	15	51

WJBL 2位、3位同士の戦いとなった準決勝、開始早々からお互いに厳しいディフェンスを敷いて相手を抑えたためか低得点の展開となる。第2ピリオドに入るとデンソーは#8 高田、富士通は#12 篠原のセンター陣が張り合っってリードの奪い合いとなるがデンソーが#8 高田、#31 高田の連続得点で3点リードして前半終了。

後半に入ると徐々に流れがデンソーへ傾き富士通に一時8点の差をつける。第4ピリオド、デンソーは粘る相手に対して速いパスワークでディフェンスをかわして#41 伊藤らが3Pを沈めると、富士通も#0 長岡の3P、#10 町田の得点で3点差まで詰め寄る。しかしデンソーは慌てることなく#13 伊集がドライブインから得点し5点差、最後富士通#1 三谷がゴール下を決めるがすでに遅し、デンソーが厳しいディフェンスの激戦を制して決勝へ進む。

1月 9日 男子準決勝

	1P	2P	3P	4P	計
リンク栃木	22	15	16	16	69
東芝神奈川	12	15	17	18	62

女子同様NBL 2位、3位同士の戦いとなったこの試合、東芝がインサイド#22 ファジールにボールを集めて加点していくのに対して、リンク栃木は内外バランスよく攻めて得点を重ね前半10点をリードする。第3ピリオド、東芝が内外バランスよく得点するとリンク栃木も早いパス回しや速攻などで加点し拮抗した展開となる。第4ピリオド開始早々東芝は#7 篠山が2本の3Pを決め、更に速攻で逆転に成功する。対するリンク栃木も#25 古川の外角シュートなどで応戦し再びリードを奪う。終盤東芝は#33 長谷川の3Pで6点差まで追い上げるが時間切れとなり、安定した試合運びのリンク栃木が2014年の覇者を下して決勝へ進んだ。

1月11日 男子決勝

	1P	2P	3P	4P	計
アイシンホームス三河	24	22	21	22	89
リンク栃木	14	30	10	19	73

NBL 2位のリンク栃木と5位のアイシンが対戦する決勝戦は、第1ピリオド、アイシンが内外バランスよい攻撃で2桁のリードを奪うと、第2ピリオドではリンク栃木が#13 渡辺の3Pを皮切りに5連続得点を挙げて一気に逆転する。対するアイシンも#22 長谷川が3Pを3本成功させ前半は2点差の接戦で終わる。

第3ピリオドに入るとリンク栃木は悪夢にあったようにシュートが決まらなくなる。この間アイシンは#6 比江島、#14 金丸、#32 桜木らが着実に得点し67-54とリンク栃木を突き放す。

第4ピリオド、追いつきたいリンク栃木は#13 渡辺の3Pや#25 古川の3Pで一時4点差まで迫るが詰め寄りもここまでで、その後はアイシン#21 エドワーズのインサイドでの活躍で再度2桁のリードとなり、そのまま逃げ切った。

アイシンは5年ぶり9回目の優勝。

.....

バスケットボール功労者表彰

日本バスケットボール協会は、1月10日にバスケットボール功労者として下記の方々を表彰した。

特別功労表彰

氏 名	年齢	推 薦 団 体
麻生 太郎	75	日本バスケットボール協会 バスケットボール女子日本リーグ機構

功労表彰

氏 名	年齢	推 薦 団 体
小野 宏道	72	香川県バスケットボール協会
今 豊	74	日本実業団バスケットボール連盟
橋本 章	79	日本家庭婦人バスケットボール連盟
前田 築	79	熊本県バスケットボール協会
手塚 純	73	京都府バスケットボール協会
内山 智江	69	福井県バスケットボール協会
稲垣 進司	75	日本クラブバスケットボール連盟
鈴木 朝夫	73	山形県バスケットボール協会
(故) 永田 剛	享年 69	秋田県バスケットボール協会
沼田 宏文	64	大阪府バスケットボール協会

J X - E N E O S ウィンターカップ 2015

第 4 6 回全国高校選抜優勝大会結果

[編集部]

昨年末 12 月 23 日から 29 日まで東京体育館で開催されたこの大会は、相変わらずの
人気で初日から最終日まで多くの観客が詰めかけた。勝っていても負けていても最後まで
真剣勝負を挑む高校生の姿は観客を魅了し、毎回会場を満員にする源となっており、トッ
プリーグでもこれを参考にして観客動員に役立ててはどうだろう。

特に決勝戦は 3 階席まで埋まるほど多くのファンが観戦し、ひたすらにプレーする高校
バスケットボールの魅力に浸った。

出場校は各都道府県代表 1 チームに加え開催地から 1 チーム、高校総体の 1 位・2 位チ
ームの優先出場で男女とも 50 チームによって優勝が争われた。

全国の高校に所属のバスケットボールチームは男女合わせて 8000 チームを上回るが、
この大会に出場できるのは男女 50 チームずつの 100 校でその競争率は単純計算でわずか
1 % 強、郷土代表というような意味合いが濃いことも人気のひとつと言える。

男子優勝チームは宮城県の明成高校
で、これまで秋田県の能代工業高校と
京都府の洛南高校しか成し得なかった
大会 3 連覇を達成し、女子では超強豪
校といえる愛知県の桜花学園高校を破
った総体 2 位の岐阜女子高校がこの大
会初優勝という悲願を達成した。



今大会では特徴的な事柄が挙げられ
る。すなわち男子においてダンクシュ
ートを成功させた選手が数人いたこと
や、明成高校の八村選手(201cm)がリン
グより高いところで相手のシュートを
ブロックしたように高校生の長身者技
術が特段に向上したこと、3 P シュ
ートの確率が高くなったことなどであ
ろう。男女ともに目を見張る確率で
シュートを決めるポイントゲッターの
存在など、有望な選手が多くこれらの
選手が更に技術を錬磨すれば、2020
年の東京オリンピック出場に大きな
期待が持てる。

男子で、もう一つは高得点のゲーム
が多いことで、観客からすれば次々と
シュートが入る入れ合いの方が面白
いだろうが、必然的にディフェンス
がおろそかになるのはいただけない。

バスケットの醍醐味は厳しいディフ
ェンスをかいくぐって得点に結びつけ
るプレーであり、ノーマークのシュ
ートが多ければそれだけシュート確
率が上がるが、それは当たり前と言
える。特にアウトサイドの 3 P シュ
ート時にディフェンスマークが甘く
なるのは改善してほしいもの。将来
ある高校生たちが更に錬磨して高
技術のプレーを生み出すことを期
待したい。

女子においては何ととっても長年に
わたって高校女子界を制してきた愛
知県の桜花学園高校が、岐阜女子高
校に決勝で敗れたことだろう。岐阜
女子高校は、U-18 アンダーカ
テゴリで日本代表候補に入っている
選手がおらず、全員がこつこつとし
た練習を積み上



げて悲願ともいえる優勝を勝ち取った。決勝戦第4ピリオドに相手を追いあげて逆転しその後も全員バスケットで桜花学園高校を突き放した力は、厳しい練習の成果と言って良い。

相変わらず多くの観客動員や、高校生らしいはつらつとしたプレー、一生懸命取り組む姿勢などよいことが目立った大会だが、他方で少し気になることもある。

それは男子に多い留学生の存在である。彼らは上背もあり主にインサイドプレーが多いが、留学生がいるチームはリバウンドをほとんど留学生に任せてしまっているがゆえに、日本人プレーヤーのリバウンドに対する対応がおろそかになっている。

[男子決勝戦]

	1P	2P	3P	4P	計
明 成	17	14	23	24	78
土浦日大	20	14	23	16	73

3年連続優勝を狙う宮城県明成と和歌山国体優勝の茨城県土浦日大との対戦となり、好ゲームの期待から会場は満員の状況。

第1ピリオド、明成のエースセンター#8 八村のインサイドプレーやドライブインに加えてシューター#10 三上の3Pなどで得点を挙げれば、土浦日大もシューター#10 松脇の3Pなどで加点しお互いに譲らず、終了間際に#10 松脇が3本目の3Pを決めて土浦日大がわずかにリードする。

第2ピリオドで、一時土浦日大がわずかにリードを広げるが、明成もすぐに追いついて接戦の様相は変わらず、このピリオドは同点で終わり、前半を終えて土浦日大が3点のリード。

第3ピリオド、お互いに早いペースでシュートの応酬となり白熱した展開で試合が進む。その中で土浦日大#10 松脇が5本目の3Pを決めて一時48-39とリードを広げたものの、明成も#10 三上や#6 能見が連続3Pを決め、#8 八村のインサイドも決まってすぐに追いつき、このピリオドもお互いに同点で前半の得点差のままとなる。

勝負となった第4ピリオド、開始早々明成#6 軍司の3Pを含む連続シュートが決まって59-57と明成が逆転に成功、更に#10 松脇も3Pを決めて62-57とリードを広げる。ピリオド中盤、明成は#6 軍司がまた連続得点し一時9点差までリードを広げるが、土浦日大もここから3Pやフリースローで追い上げる。明成も負けじと3Pで引き離しにかかるなか、土浦日大も#4 山崎や#10 松脇の連続3Pで粘るという白熱



の展開となったが、時間切れとなり結局5点差で明成が3年連続4回目の優勝を飾った。

この試合両チームとも3Pシュートの応酬となり、明成は31本中9本の成功、土浦日大が34本中13本の成功と場内を沸かせた。

[女子決勝戦]

	1P	2P	3P	4P	計
岐阜女子	4	8	20	22	54
桜花学園	8	16	15	10	49

高校総体、国体の決勝戦と同じカードとなった決勝戦、桜花学園は高校9冠を目指し岐阜女子は選抜大会初優勝を目指して気合が入る。

開始早々両チームとも思うように攻撃できずロースコアに終わる。第2ピリオドに入ると桜花学園が力を発揮してコツコツと得点を重ね、残り3分に20-9とリードを広げペースを保つ。桜花学園はエース#10 馬瓜が3つ目のファウルでベンチへ下がったが動じることなく前半を24-12のダブルスコアで終える。

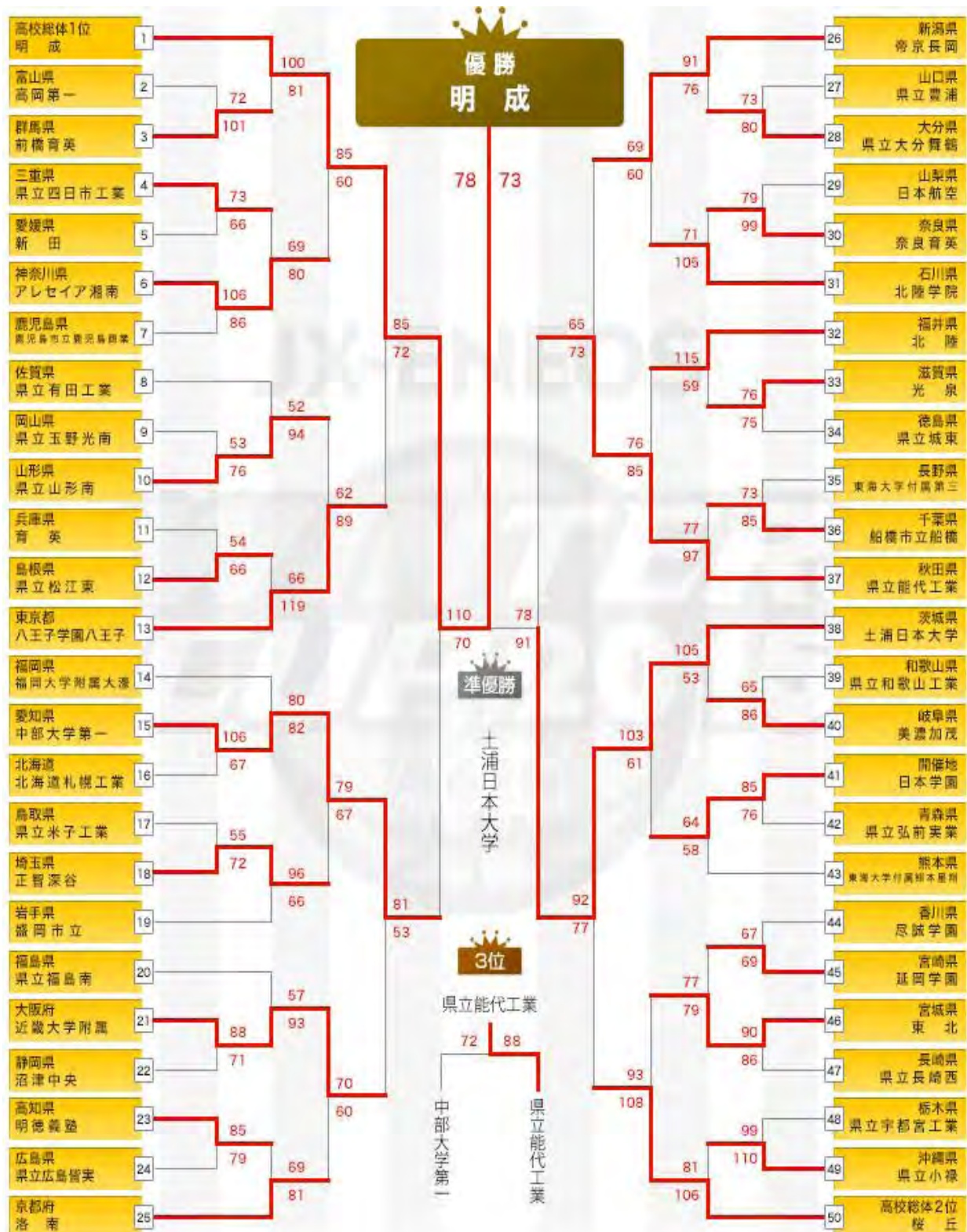
第3ピリオド、桜花学園のリードでこのままゲームが動いていくのかと思いきや、岐阜女子が#7 ファトーのこの試合全得点となるゴール下シュートを決めて追い上げに転じる。その後は両チームのシュート入れ合いが続くが、残り2分42秒に桜花学園#10 馬瓜が4つ目のファウルを犯してベンチへ。岐阜女子はすかさず攻勢を強め#5 伊藤のドライブイン得点などで32-39と低得点のまま7点差に迫る。

第4ピリオド、桜花学園の#10 馬瓜がインサイドシュートを決めれば、岐阜女子も#5 伊藤や#6 田中の連続3Pなどで食いつくという白熱した展開となり残り、4分で桜花学園が47-44と3点のリード。岐阜女子は、#10 馬瓜の4ファウルで甘くなった桜花学園のゴール下ディフェンスに対して、#7 ファトーがリバウンドからの得点で1点差にすると続いて#6 田中が3本目の3Pを決めて49-47と逆転に成功する。桜花学園もすぐに#10 馬瓜がインサイドを決めて追うが、岐阜女子は、#4 村瀬がドライブインでバスケットカウントを取り一歩抜け出すと更に#9 藤田がジャンプシュートを決めて5点のリードを奪う。この間、桜花学園#4 遠藤の3Pが2本とも岐阜女子の厳しいディフェンスに阻まれ、最後、桜花学園も必死にボールを奪いに行くが岐阜女子が冷静にボールを回して結局54-49のスコアで勝ち抜く。

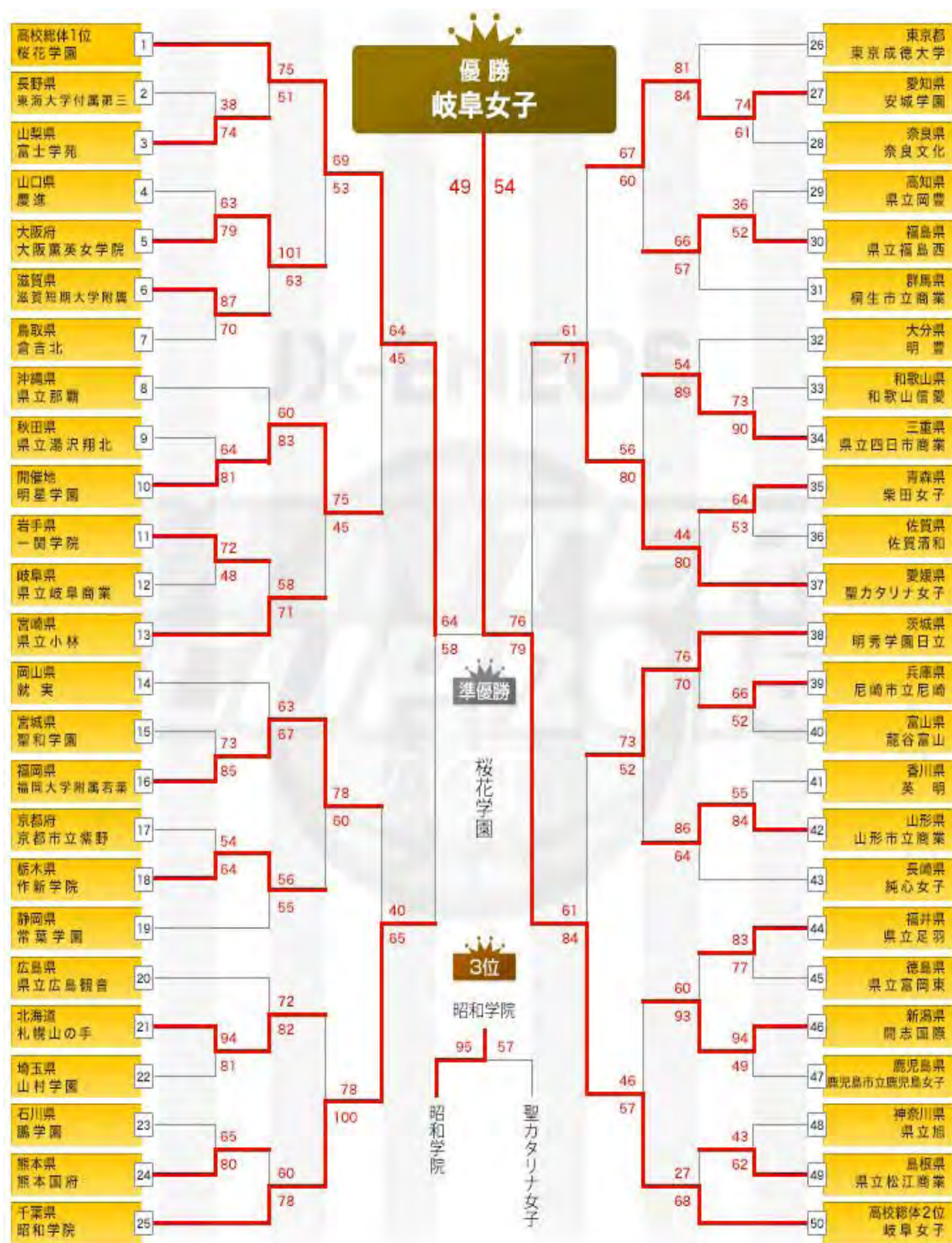
岐阜女子は執念ともいえる見事な逆転劇で初優勝に輝いた。



男子の結果



女子の結果



第 6 7 回全日本大学選手権大会

インカレ 2015 は筑波大がアベック制覇

[編集部]

男子 4 強は関東勢（東海大、青山学院大、筑波大、拓殖大）が勝ち上がり関東 1 部チームの実力の壁が厚かった。とくにインカレ 2 連覇を達成した筑波大は攻守のバランスがとれたチーム力で安定した進化がみられ、MVP を獲得した馬場雄大選手(2 年)、アシスト王の生原秀将選手(3 年)など若くて将来性が期待できる選手の活躍が際だっていた。

しかし 200 cm 以上の日本人ビッグセンターの活躍を期待したいところであったが、上位チームには不在であり、唯一、拓殖大の留学生アマハド・バンバ選手が得点・3 P・リバウンド王を独り占めするなどの活躍が目立ったのみで、将来の日本代表への期待が薄かったことが懸念された。

将来の日本代表候補の誕生は、例年大学生男子勢の凌ぎ合いで有望選手が輩出する傾向があるので期待を持ちたいところであり、指導陣体制の充実と育成強化方法が課題である。日本協会関係者の意識と連携を真剣に高める努力を期待したいものだ。



男子決勝のリング下攻防

女子の優勝は関東リーグ 4 位の筑波大が準々決勝で早稲田大に競り勝って波に乗り、結局 4 強は関東(筑波大、白鷗大)、中部(愛知学泉大)、関西(大阪人間科学大)と勢力が分散した観があり、好試合が繰り広げられた。

2 連覇を狙った早稲田大は主力の故障で最後まで苦しみ、チーム力に勝る筑波大に僅差で敗れ涙をのんだ。

筑波大の MVP とアシスト王の藤岡麻菜美選手(主将 4 年)は、怪我復帰直後でありながら気迫でチームを牽引し優勝の原動力となり見事であった。

特筆したいことは、女子の白鷗大が 9 月の北関東集中豪雨で学校が水害被害に遭いながら、チーム全体、部員全員で体育館復旧などに奮闘し再建を果たして準優勝したことであり、賞賛に値する。とくに得点・敢闘賞を獲得した馬伊娜選手は 4 年間エースとして大活躍し、その存在は他チームの脅威であったと共に印象深いものであった。

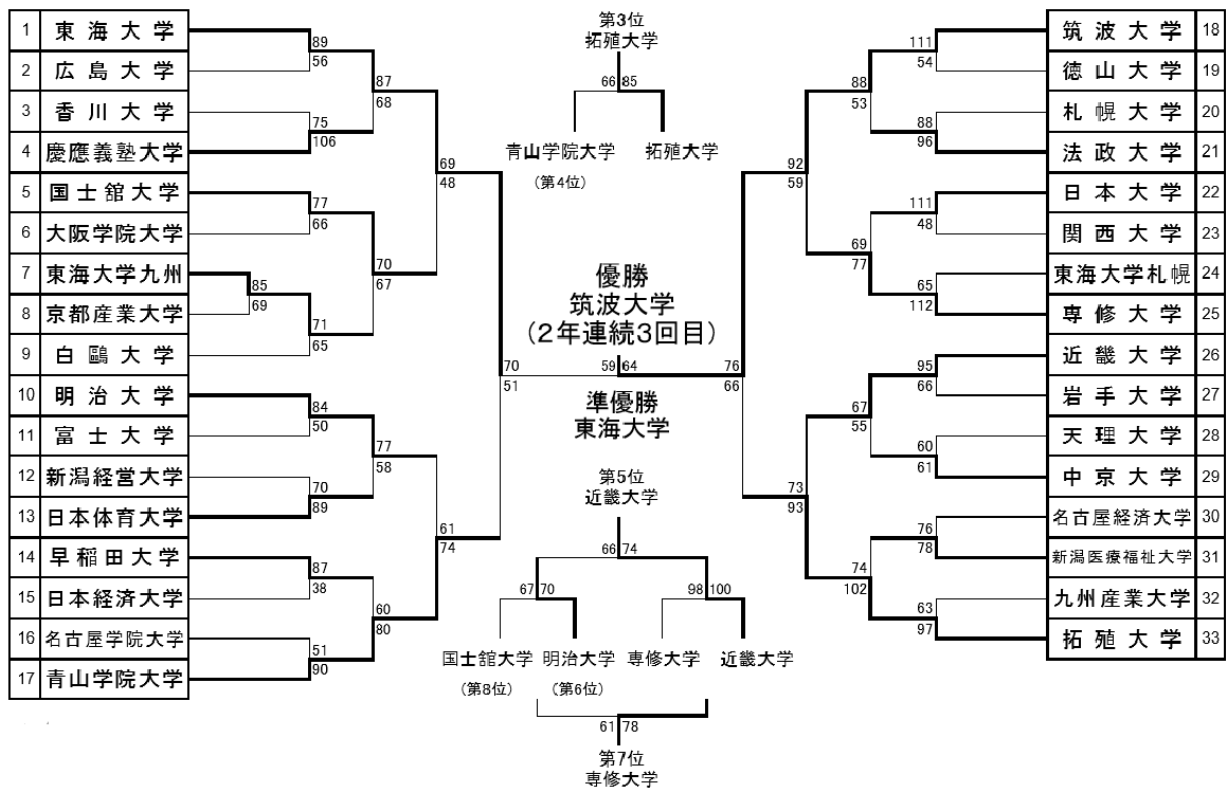


左が筑波大藤岡選手



右が白鷗大馬選手

**東日本大震災復興支援
第67回全日本大学バスケットボール選手権大会
男子勝ち上がり表**



女子勝ち上がり表



リオ・オリンピック男子世界最終予選

F I B A男子最終予選組み合わせ決まる

[編集部]

2016 リオ・オリンピックのF I B A男子世界最終予選の組み合わせが決まった。オリンピック男子の出場枠 12 チームの各大陸割り当ては、前回までアメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オセアニアから各々 1 チームであったが、今回から変更されてアメリカ大陸とヨーロッパ大陸に 2 チームずつの枠が与えられることになった。

よってこれまで 5 チームの割り当てがあった世界最終予選は 3 チームの枠になり、大激戦が予想される。男子日本代表はアジア大陸 4 位で今回の世界最終予選に出場するが、相当な覚悟をもって予選大会へ望んで欲しいもの。

以下に男子でのこれまで決定されているリオ・オリンピック出場チームと世界最終予選組み合わせを紹介する。

[オリンピック出場決定チーム] 9 カ国

チーム	地 区	チーム	地 区
U S A	2014 世界選手権優勝	ブラジル	開催国
ベネゼエラ	アメリカ大陸 1 位	スペイン	ヨーロッパ大陸 1 位
アルゼンチン	アメリカ大陸 2 位	リトアニア	ヨーロッパ大陸 2 位
ナイジェリア	アフリカ大陸代表	オーストラリア	オセアニア大陸代表
中 国	アジア大陸代表		

[世界最終予選出場チーム] 18 カ国

アンゴラ、カナダ、チェコ、フランス、ギリシャ、イラン、イタリア、日本、メキシコ、ニュージーランド、フィリピン、プエルトリコ、セネガル、セルビア、チュニジア、ラトビア、クロアチア、トルコ

[開催日程]

7 月 4 日（月）～ 10 日（日）

[世界最終予選組み合わせ]

リオ・オリンピック世界最終予選は 18 の出場国を予選開催国会場ごとの 3 グループに分け、各会場の 1 位がオリンピック出場権を獲得する。各会場では 3 ヶ国ずつ A, B にグループ分けされ、各グループで予選リーグを行い上位 2 チームが準決勝へ進む。準決勝ではグループ A の 1 位対グループ B の 2 位、グループ B の 1 位対グループ A の 2 位が対戦し、勝ったチームが決勝へ進み勝ち残ったチームがオリンピック出場権を獲得する。

セルビア・ベオグラード会場

グループ A： セルビア、アンゴラ、プエルトリコ

グループ B： 日本、チェコ、ラトビア

フィリピン・マニラ会場

グループA： トルコ、セネガル、カナダ

グループB： フランス、ニュージーランド、フィリピン

イタリア・トリノ会場

グループA： ギリシャ、メキシコ、イラン

グループB： チュニジア、クロアチア、イタリア

男子日本代表チームの対戦国

男子日本代表チームは、現在F I B Aランキング48位で、セルビア・ベオグラード会場においてグループBで予選リーグを戦う。初戦の相手はF I B Aランキング35位のラトビア、次にF I B Aランキング42位のチェコと対戦する。

男子日本代表チームのスケジュール

7月4日（月） 日本 vs ラトビア

7月6日（水） 日本 vs チェコ

7月8日（金） セルビア会場 準決勝

7月9日（土） セルビア会場 決勝

[展望]

世界最終予選におけるオリンピック出場枠が減り、オリンピック出場権獲得は厳しさを増していると言ってよい。オリンピックにおける球技種目の出場国は、いずれも12チームまでとされており大変な激戦区でもある。

男子の場合、これまでアジア勢が世界最終予選で勝ち残ってオリンピック出場を果たした例はない。1次予選で戦うラトビアやチェコはヨーロッパにおいて強豪国を倒したこともあるチームだが、これらのチームを上回るべく一層強化して是非とも厳しい世界予選を勝ち抜いて欲しいと願う。

そのためには国内リーグの途中からでも代表候補選手を選考して強化合宿に入っていく必要があるのではなかろうか。

特 集

スペシャルオリンピックス

[普及部]

スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織である。1968年に故ケネディ大統領の妹ユニス・シュライバー氏によって設立された組織であり、日本では1991年に熊本を皮切りに活動が始まり1994年にスペシャルオリンピックス日本が設立され、昨年20周年を迎えた。

振興会では、このスペシャルオリンピックスのバスケットボール競技に対して10年程前から、知的障害のある人たちを支援する意味から大会に審判を派遣して支援を行ってきた。

今年はリオ・オリンピック、パラリンピックが開催されるが、これに先立って昨年7月に「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」がアメリカで開催され、日本からバスケットボール競技に男女合わせて3チームが出場した。スペシャルオリンピックス競技では、その障害の程度に応じてクラス分け（ディビジョニング）されて試合が行われるが、日本女子チームはディビジョン3にランクされ、金メダルを獲得するという優秀な成績を収めた。

この女子チームを率いたのが内藤清正氏である。彼は能代工業高校から明治大学に進み卒業後は横河電機でプレーした選手で、障害児を持つ父親としての一面もある。

このたび内藤清正氏から「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」に参加した報告と感想文書を、多数の方々とバスケットボールを通じてより一層絆が深まることを目的として提出いただいたので、次頁以降に紹介させていただく。

スペシャルオリンピックスでは選手をアスリートと称しているが、健常者とは異なりアスリートにバスケットボールのルールや戦い方などを理解させることは困難を極め、忍耐強く繰り返し教えながら一步步つ前進するのである。

先のアメリカ遠征には振興会会員でもある清水千代美さんもコーチングスタッフとして参加、多大な協力をして金メダルに貢献している。

知的障害者は女子よりも男子に多いことが厚生労働省の調査ではっきりしているが、その障害がなぜ起こるのかという原因については、いまだ不明の部分が多いといわれる。

この障害を伴って生まれた人は、重症者から軽症者とさまざまであるが、共通していることは健常者と比べて積極性と協調性に欠けるところである。

団体競技であるバスケットボールはそれらの点を補うにふさわしいスポーツ種目になっており、振興会が積極的に支援する要因にもなっている。



振興会派遣のスペシャルオリンピックス審判（左端）



スペシャルオリンピックス世界大会開催 Special Olympics World Games Los Angeles 2015 に参加して

女子チームヘッドコーチ 内藤 清正

本年 7 月 25 日から 8 月 2 日にかけて、スペシャルオリンピックス発祥の地であるアメリカのロサンゼルスにて 164 の国と地域より 8,500 名以上の選手団が集まり、4 年に一度の夏季世界大会が開催された。

日本からは 11 種目 118 名の選手団が参加し、特にバスケットボール競技は 3 つのチームが本場アメリカで熱戦を繰り広げた。私もバスケットボール女子チームのヘッドコーチとして参加させていただいたことから「もうひとつのオリンピック」での日本チームの活躍をご報告したい。

スペシャルオリンピックスにおける競技には、「アスリート」と呼ばれる知的障害を持つプレーヤーで構成される競技（トラディショナル）と、「パートナー」と呼ばれる健常者とチームを組み競技する「ユニファイドスポーツ」とがある。

「ユニファイドスポーツ」という名前は聞き慣れないと思うが、障害のある人となない人が同じチームでプレーすることで練習や競技経験を共有し友情と相互理解を育むスペシャルオリンピックスの大切な取り組みである。

アメリカでは NBA オールスターゲームのエキジビションで、往年の名プレーヤーや WNBA の有名選手とともにアスリートがプレーするなど盛んに取り組まれている。今回の世界大会のバスケットボール競技では、男・女ともトラディショナルとユニファイドスポーツの 4 種目が実施され、日本はトラディショナル男子・女子とユニファイドスポーツ男子に参加した。私たち女子チームは初めて世界大会に参加する機会を得て、前年福岡で行われたナショナルゲーム（全国大会）で上位の成績を収めた東京・山口・福岡の各チームより選抜されたアスリートでチームを構成、3 度の国内合宿を経て大会に臨んだ（日本より女子団体チームが世界大会に参加するのは、バレーボールに続いて 2 例目とのこと）。

私自身中学校よりバスケットボールを始め、能代工業高校、明治大学と伝統あるチームでプレーする機会をいただいたことで加藤廣志先生・加藤三彦先生などの素晴らしい指導者の方々より教えることができたのだが、知的発達障害を持つアスリート達とチームを作り上げていくことについては私自身にとって大きな挑戦だった。

私の息子が自閉症という障害を生まれながらに持ち、その成長の過程で周りの方々からの支えを受けて私自身も人として成長させていただいた。その貴重な経験から、同じ障害を持つ親の視点とバスケットボールを経験してきた者としての視点の双方についてバランスを取りチーム作りすることを常に心がけた。そして「自閉症スペクトラム」が相手の表



ロサンゼルス総領事公邸にて

情を読み取るなどのコミュニケーションや感情のコントロールなどが一般の方々より苦手である障害であることから、バスケットボールのプレーはもとより、いかにチームとしての仲間を思いやる気持ちや組織としての規律を持つことができるかについて重視してきた。

幸い女子チームのコーチングスタッフに、山口県でスペシャルオリンピックスの活動に携わってこられた市邨短大や大阪体育大学で活躍しインカレで四度の得点王となった経歴を持つ清水（旧姓中村）千代美氏、東京で同じく障害を持つ子の親の立場で長年スペシャルオリンピックスの活動に携わってこられた三上真理氏のお二方に加わっていただき、豊富な経験と同姓からの視点で指導・支援をいただけたことが、チームにとって大きな支えとなったのは言うまでもない。



世界大会コーチミーティングで
前列左から 島本和彦氏、清水氏、三上氏

現地のロサンゼルスに到着し、まず驚かされたのが本物のオリンピックさながらの環境でアスリートたちをはじめ選手団や家族がもてなされたことである。この大会のボランティア数は 30,000 人と言われ、到着したロサンゼルス空港では飛行機を降りた瞬間から大会ボランティアの方々に続々と到着する各国選手団が出迎えていただいた。「ホストタウンプログラム」（日韓共催サッカーW 杯でのキャンプ地でもあったような、地元の歓迎イベント等の活動）では栃木県大田原市の姉妹都市であるウエストコビーナ市の歓迎を受けた。地元高校の体育館で練習させていただく機会があったが、先生や生徒たちの協力もあり本場アメリカのバスケットボールの一端を体験することができた。

開会式・閉会式は 1984 年のオリンピックでも使用されたメモリアル・コロシアムで開催され、大会名誉会長のオバマ大統領夫人やアヴリル・ラヴィーン、スティービー・ワンダーなどの有名アーティストが参加して盛大に行われた。日本からも下村文部科学大臣やケネディ駐日大使、スペシャルオリンピックス日本の有森裕子理事長らが選手団とともに入場行進を行った。

一枚百数十ドルのチケットを持った観客が数万人スタンドを埋め尽くすなど関心も高く、その様子は ESPN を通じて全米に生中継されるなど連日大会の様子が新聞テレビ等で報道され、改めて障害者スポーツがアメリカで根付いていることを感じさせるものだった。



大会初日の USC ガレンアリーナ

バスケットボール競技は南カリフォルニア大学（USC）のホームコートであるガレンアリーナで行われ、1 万人以上が収容できるメインアリーナ(写真参照)でプレーすることができた。

そして連日各国からの応援団を始め、地元のボランティアが数百人単位で観戦するなど非常に盛り上がった雰囲気を感じたときは、このような素晴らしい機会をいただき、この大会を目指して頑張ってきたアスリートに貴重な体験をさせてあげられることに感動した瞬間だった。

男子チームはトラディショナル・ユニファイドスポーツと合わせて約 50 チーム、女子チームは 20 チームが参加し、連日熱戦が繰り広げられた。

スペシャルオリンピックスでもう一つ特徴的なのは、「ディビジョニング」と呼ばれる同程度の競技能力のチームでグループ分けがされ、参加したすべてのアスリートが表彰されることである。スペシャルオリンピックスでの競技会は日頃の練習の成果を発表する場であり、勝敗にかかわらずこれまでの努力に対して成果を出せたことが賞賛され、メダルや4位以降にはメダルに代わってリボンが授与される。

ちなみに、日頃の活動が重要でありいつもどこかで行われているというところから、スペシャルオリンピックスという名称が複数形となっているゆえんでもある。

トラディショナルの女子競技は 12 チームが参加。予選を経て4つのディビジョン（グループ）に分かれての本競技となった。日本はコスタリカ、インドと同じディビジョン3となった。

オーストラリアやロシア、ギリシャ、アイルランドといったヨーロッパのチームは体格もあり安定したプレーをしていることから、障害を持っているプレーヤーとは外見では全く思いもよらないものであった。日本チームも予選でアイルランドと対戦したが、同じスキルでも体格がまるで大人と子供ぐらいの違いがあり、全くと言っていいほど歯が立たなかった。

一方開催地がアメリカということもあり、比較的近い国であるメキシコ、コスタリカ、エクアドルといった中南米からの参加が目立った。中南米のチームは体格的に劣るものの、高い身体能力をもち接触にも強く果敢にプレーするチームだった。エクアドルと対戦したが、同じ体格であるものの1対1での力強さやルーズボールでの力の差は歴然だった。さほど体格に恵まれなくても素

晴らしいプレーができ

ることを実感し、日本のアスリートたちに更なる可能性を持つことができた。



エクアドル戦



アイルランド戦

日本女子チームは国内で西と東に分かれたメンバー構成でチーム全員が集まっの練習が限られていたことから、それぞれの地元での練習を大事にしてきた。特にディフェンスについてはボールへのプレッシャーを意識することですぐに効果が表れることから注力してきたが、実際の試合の場において地道にボールを追いかける姿に大会関係者より高く評価をいただくことができた。



表彰式での万歳三唱

(LA 日本語紙 日刊サン提供)

とにかく個人のスキルが高い、いわゆる点取り屋が目立ってしまうのだが、能力がそれほど高なくても自分の役割を認識し献身的にチームのために頑張ってくれたアスリートの地道なプレーほど観客の賞賛を得るとともに、チームの志気を高めてくれたと思う。メダルを争うディビジョンゲームはコスタリカ、インドと2回戦総当たりとなったが、地道なプレーの積み重ねで4連勝し金メダルを取ることができた。

一番良い色のメダルをいただけたことももちろん喜ばしいことであったが、日本女子チームの立ちふるまいを評価いただけたことが一番の喜びであった。コートの上では全力でプレーすること、アリーナや USC のキャンパス内で元気にあいさつをすること、いずれもバスケットボールの選手であれば当たり前のことではあるが、素直で一生懸命な日本のアスリートたちの姿を見ていただいた大会関係者より最終試合のハーフタイムにメインコートに立つよう促された。大会スタッフやボランティアがハーフタイムショーのごとく音楽に乗せてダンスしているところに、金メダルの表彰が終わったばかりの日本女子チームを誘っていただいたのだった。明るく元気にバスケットボールを楽しんでいるアスリートたちがその雰囲気マッチしたのだろうか、真面目に取り組んでいたことを評価いただき多くの観客の前で頂いたばかりの金メダルを披露できたことは何よりもよい思い出である。



最終試合のハーフタイムにて

昨今2020東京オリンピック・パラリンピックの決定で障害者スポーツにも目が向けられて、リオデジャネイロパラリンピックに車椅子バスケットボール男子チームの出場が決定するなど良い機運が流れている。しかし、このムーブメントが一過性のものにならず障害者スポーツがごく当たり前のものとなるためには多くの方々に知っていただく活動が大事であると考えている。私も今回このような素晴らしい機会をいただけたことで、改めてスペシャルオリンピックスの持つ意義、障害の有無にかかわらずスポーツに懸命に取り組む姿の美しさを改めて再認識することができた。

今後はこの経験をスペシャルオリンピックスの仲間々に伝え、ひとりでも多くのアスリートがより多くの経験ができるよう、微力であるが活動を続けていきたい。そしてより多くのバスケットボール関係者の方々と手を携え、様々な形のバスケットボールがひとつになって発展していければと考える。

バスケットボールの絆がより深まることを祈念し、筆を擱きたい。

(認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・東京 バスケットボールコーチ)

人物抄

堀 堅次 さん



堀さんは、昭和4年(1929)5月東京生まれで現在86歳、東京三鷹にお住まいでお元気である。子供のころ堀さんが学ばれた学校は学習院のみで、初等科、中等科、高等科、大学と一貫して学習院で教育を受けられた。当時の諸先輩方は、旧学制方式から新学制方式へ変わったことによって新制大学編入となった方が多かったようで、堀さんも旧制高校から学習院大学へ編入された。

バスケットボールを始められたのは中等科の時からで、終戦後の昭和21年(1946)、日本へ進駐したアメリカのマッカーサー司令官の命により、スポーツにおいて武道(空手、剣道、柔道など)種目が制限されたこともあってバスケットボールに興味を持たれ、発足したばかりのバスケットボール部に入られた。

学習院のバスケットボール50年史を紐解くと、戦前学習院中等科の2年生は1年間全寮制で寮生活だったが、戦争が激しくなった昭和19年(1944)堀さんたちが最後の寮生活を後にした辛い思い出もある。

終戦直後のバスケットボール部は発足したものの多くの物資が不足、1個しかなかった革製ボールもいびつでドリブルもままならず、体育館とは名のみでコンクリート床に屋根をかぶせただけの粗末な建物だったという。夏休みになると焼け残った体育館(現秩父宮ラグビー場)で鈴木正三先生の指導で練習し、隣のコートでは慶応大学の武富さんや増島さんらが練習し、慶応の主将だった小森さんの怒鳴り声もよく聞こえた。

秋に開催された振興会日比野副会長在籍の東京高等師範附属中学(現筑波大付属高校)との定期戦に8-40で大敗した。

堀さんは旧制高等科から大学へ編入されたが、昭和22年(1947)に高等科バスケットボール部主将として活躍、昭和24年に新制大学となってからも主将として活躍されている。そして昭和28年(1953)に大学を卒業されるが、まだ学生だった昭和26年(1951)堀さんの妹さんが当時女子高等科でバスケットボールをやっていたことから女子高等科のコーチに就任、翌年には監督として東京都インターハイ予選に出場して決勝まで進出。決勝戦では、東京教育大学OBの吉井先生が率いる十文字高校と対戦し、27-37で敗れてインターハイ出場を逃している。

この年の国体東京予選も決勝戦で同カードとなり28-39と似たような点差で敗れたが、学習院女子高等科としては歴史に残る好成績だったそうである。

また在学当時、プラザ67号で紹介した青山学院大学OBの並木さんらとともに、新制大学による関東大学新連盟の発足に向けて奔走、昭和25年第1回目のリーグ戦開催に献身された。

大学を卒業されてからまもなくの昭和29年(1954)今度は学習院大学のコーチに就任、翌30年と31年(1956)には監督として大学バスケットボール部を支えられ、関東大学新連盟の1部でリーグ戦を戦いインカレにも出場しておられる。

大学を卒業されてから三菱製紙に入社されたが、この頃から日本は戦後からの本格的な復興期が始まり、経済成長とともに紙の需要は増える一方であった。当然のことながら各

製紙会社も紙の増産を図るため全国各地に工場を建設し、従業員を増やしていく施策を取り始める。

堀さんは、大阪工場の閉鎖に伴い新設の八戸工場へ転勤となるが、これをはじめとして転勤が多くなり結婚されてから10回も引っ越しをされたという。

大阪におられたころにはさほどでもなかった堀さんのバスケットに対する情熱は、東北八戸に転勤されてから再び燃え上がる。

当時八戸工場にバスケットボール部はなかったが、高校を卒業して入社してくる若い人を集めてバスケットボール部を創設、東北実業団連盟にも加盟して対外試合も行った。そのころ東北では実業団チームが少なく、同じ八戸でバスケットをやっていたのは、八戸信用金庫くらいだったそうだ。

当然のことながらその活躍は地元八戸のバスケットボール界に知れるところとなり、堀さんは、八戸協会の役員から副会長にまで就任、さらに当時実業団連盟がなかった青森県に実業団連盟を創設し初代理事長として活躍された。

堀さんは、三菱製紙八戸のバスケットボール部を強化され、昭和52年(1975)札幌で開催された全国実業団競技大会に東北代表として出場、実業団でも全国大会へ顔を出すほどチームの強化に熱心に取り組まれ、翌年東京で開催された大会にも出場されている。

この札幌大会の際、関東、東海、近畿などチーム数の多い地区はJALに交渉して安い運賃の飛行機で北海道へ行ったが、八戸から札幌は近いようで遠く八戸港からフェリーで苫小牧へ渡り、更にJRで札幌へ着くまで一晩以上かかったという。

堀さんは実業団バスケットにおいては、八戸でチームを作って全国大会出場までこぎつけた頃がご自身のバスケットボール歴においても印象的だったと懐古される。

三菱製紙を定年退職された後、東京三鷹市へ落ち着いた堀さんは、ふと武蔵野市市報に「ミニバスケットのコーチ募集」という記事があるのを目にする。

バスケットに情熱を傾けてきた堀さんの気持ちが一瞬に動いたことは言うまでもなく、早速ミニバスのコーチを開始すると、ここでもその熱心さを買われ20年間にわたってコーチングを続けることになる。

堀さんは、たまたまお孫さんが小学校6年生のとき、三鷹でミニバスのチームを作って地元の大会に出場するなどして面倒を見、やがては三鷹市バスケットボール連盟の会長に就任する。これは、84歳になるまで10年間続けられたという熱心さで、ちなみに地元で開催するミニバスの試合はすべて観戦するそうである。

「ミニバスの指導は易しいようで難しいですね」という堀さん、バスケットボール競技の本質を知らない子供たちはどうしてもワンマンプレーになりがちで、5人の選手で点を取るという基本的なことを理解させるのに苦労したそうである。

生涯バスケットボールに情熱を傾けてきた堀さんにもバスケット以外のエピソードがある。三鷹に落ち着かれてあるとき家の庭を見たら、樹木の枝が伸び放題になっていた。

早速鋸や枝切り鋏を手にしたが上手く整わない。それならばと今度は立川にある職業訓練校へ通い始め、植木職人の道を究めてしまわれた。

この職業訓練校には定年退職した方々が30名ほど学びに来ていたそうだが、何事にも熱心に取り組まれる堀さんは、卒業されてから池袋の造園会社に植木職人として再就職してしまう。ここでも手腕を発揮した堀さんは、街路樹の剪定なども手掛けられ池袋など繁華街の街路樹を手入れする作業に迫られたという。

堀さんは「何かやり始めると結構凝り性なのでね」と笑われるが、バスケットボールに対する情熱はいまだに衰えていない。

会員だより



バスケットボール湘南だより（その 13）

◇◇もっと観客動員から日本バスケットを考えよう！！◇◇

中瀬 達雄

◆Wリーグ観客好調！！頑張れ男子リーグ、ウィンターカップからオールジャパン◆

▽なぜ、今、観客動員か？

トップリークが佳境に入り、年末恒例の高校ウィンターカップから、元旦からのオールジャパンへとバスケットボールイベントが続く。優勝チームや戦績を気にしない訳ではないが、今秋スタートのBリーグ1部のクラブの収入基準2.5億円以上ということからすれば、まずは観客動員に関心を持たない訳にはいかない。これまでのバスケット関係者は、経営・収支・観客動員などにあまりにも関心が低過ぎたのではないだろうか。

▽男子トップリークの観客数は平均1600人だが

前号で、開幕直後の観客動員が前年を越えて好調と書いたが、年内ゲームが終わったところで集計してみたら次表のようになった。

平均観客動員1600人がチームの経営レベルでどのように評価されるかわからないが、27%のゲームの観客が1000人以下と言う数字は、来年の新リーグの行き先に不安を抱かせるものではなかろうか。反面、NBLで4000人以上のゲームが5回あったこと、トップが6200人(12月23日千葉での栃木戦)とは大変嬉しいデータである。

観客数	～0500人	501-1000	1001-1500	1501-2000	2001-3000	3001人～	平均
NBL	3G(2%)	31G(24%)	27G(21%)	21G(16%)	32G(25%)	14G(11%)	1780人
TBJ	19G(7%)	61G(21%)	94G(33%)	53G(18%)	42G(15%)	20G(7%)	1510人
計	22G(5%)	92G(22%)	121G(29%)	74G(18%)	74G(18%)	34G(8%)	1590人

女子のWリーグは開幕戦が満員だったとのニュースもあり、12月第1週のJX-富士通戦は、金曜・代々木第二体育館が超満員、土曜・平塚もほぼ満員とのデータもあった。リーグからデータの公表がないが、「普及と強化」という目的から考えても、発表して貰いたいものである。

▽7,000人入ったか高校ウィンターカップ

女子が留学生のいる岐阜女子が、後半一時は10点以上リードした強豪・桜花を残り1分半での大逆転で初優勝した。男子は、これも3ピリオドまで終始リードしていた土浦日大を、4ピリオドで逆転した宮城・明成高校が3連覇を達成した。

テレビ観戦ではあったものの、画面に釘づけの2ゲームだったが、ゲーム内容以上に観客席の様子が気になった。良くは見えなかったが、両日とも満員、とくに男子戦は例年どおり最上段の席まで埋まっているように見えた。主催者からの公表はないが、東京体育館の座席数から考え7,000人近い観客だったと推測される。

▽女子・JXの完全3連覇と男子・アイシンの5年ぶり優勝

女子3連覇のJXは、準決勝のシャンソン戦が27点の最少差、決勝・デンソー戦では、前半で39-15と圧倒し、5,000人観衆のため息を誘ってしまった。リオ・オリンピック代表

チームの屋台骨を擁しての J X だから頼もしいとの半面、全日本の決勝戦としては何か物足りないゲーム展開だったと言わざるを得ない。

男子の方は N B L で トップ を走るリンク栃木だったが、外人枠一人の大会ルールもあり、3 ピリ 4 分までが精いっぱい、地力のあるアイシンには及ばなかった。それでも、スタメンの田臥出場や前半のシーソーゲームが、黄色いシャツの栃木応援席を沸かせていた。こちらの観客も、席数から推測すると 8,000 人程度ではなかったかと思える。

◆県内の新人大会は、大いに盛り上がったが◆

▽小中高決勝は全くの同日開催

神奈川県内に目を転じれば、1 月は 3 連休から高校、中学、ミニの新人大会が各地で行われ、バスケ好きにはどこへ足を運ぼうかと悩む時期ではある。更に迷うのは、最終日の準決勝・決勝の日程が、3 大会とも 1 月 23 日(土)の同日開催となっている。秦野・厚木・平塚の 3 会場は車を使っても 2 種目のゲームを見ることは難しい。



▽ミニはテレビ、秦野での高校大会は超満員で盛り上がる

ミニバス県大会は、県内放映ではあるが全国で唯一のテレビ実況放映が今回で 7 回目となり、大変盛り上がった会場となった。特設フロア観覧席も設けた平塚総合体育館は、テレビ映りも良いのだが、再延長の女子決勝では 2,000 人近くの観客が大きな声援を送っていた。

秦野市での高校大会は、男子・桐光の 2 連覇 3 度目、女子・金沢総合が 2 年ぶり 10 回目の優勝で終わったが、観覧席は超満員で、男女のトップゲームを越えて県内の集客 No. 1 である。

◆「日本中がガバナンス不足か」、小中でも観客意識を大切に！！◆

それぞれのチーム母体である学校の行事などによる関係もあるのだろうが、連携活動・一貫指導・総合普及の面から、大会最終日の同日開催は如何なものだろうか。ミニ選手が中学ゲームに学び、中学生選手が高校ゲームに刺激される。高校指導者が中学ゲームを、中学指導者がミニゲームを参考にすることはしないのだろうか。

各連盟、それぞれの事情があろうが、県協会もこの事態に指を咥えて眺めているだけでよいのだろうか。「連盟あって協会なし」か、F I B A が指摘する「ガバナンス不足」は、日本協会だけでなく日本全国に蔓延しているということか。

(神奈川県ミニバスケットボール連盟会長・平塚協会名誉会長)

12月21日はバスケットボールの日

全国31ヶ所で行事開催！ 広がるバスケの日

[普及部]

12月21日はバスケットボールの日！

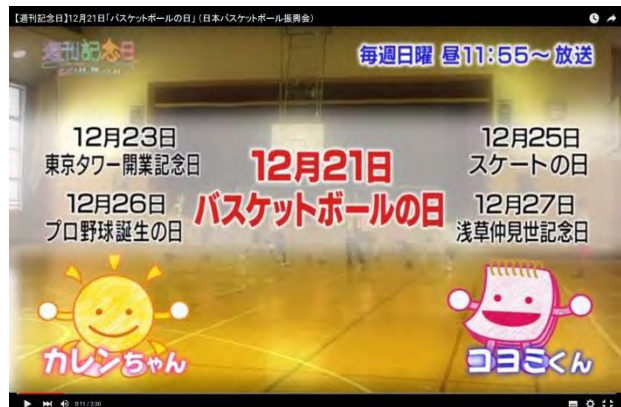
1891年12月21日に、アメリカはマサチューセッツ州スプリングフィールドの国際YMCAトレーニングスクールで最初のゲームが行われ、2015年で124年が経ちました。バスケットボールは現在124歳となりました。

2011年から多くの方々の支援をいただき代々木第二体育館における「Basketball Birthday Classic」を中心に、毎年「バスケットボールの誕生日」をお祝いして参りました。

そしてこれらのことを全国にアピールしたところ、多くの地域で賛同を得て、2015年はなんと下記の31ヶ所でお祝いの行事を開催していただきました！

能代（2回）、大槌、気仙沼、志津川、桜ヶ丘（仙台、2回）、蓮田、越谷、レーニンアカデミー（大田区）、羽田ヴィッキーズ、狛江バスケット教室（6回）、法政クラブ（2回）、梅丘中学、インカレ、代々木（BBC2015）、長野、名古屋、籠志（尼崎）、岡山（シニア）、岡山（クリスマス）、大分、高松ファイブアローズ、レノヴァ鹿児島、琉球ゴールデンキングス…と。

さらに、BS朝日TV「週刊記念日」にも取り上げられ、だんだんと「バスケットボールの日」の定着してきた様子が実感できています。（番組はYouTubeにて期間限定で無料公開されています）



全国各地で行われたゲームの結果、報告があるものの各チーム得点合計だけでもホワイトジェームスチーム 1958 - 1904 ネイスミスカラーズチームで合計 3862 点、さらにレーニンアカデミーでは 3P シュートを 1221 本決めるチャレンジにより 3663 点、総合計 7525 点のスコアを記録しました。残念ながら集計報告がなかった開催地を含めると、推計 10,000 点のシュートが「バスケットボールの誕生日」を祝ったことになります。

2016 年はバスケットボールが 125 歳を迎えます。どんな形でも結構ですので、「バスケットボールの誕生日」を祝う風習を全国に広めていきたいと思えます。振興会の皆様にも是非ご協力をお願い致します。

12月21日はバスケットボールの日！委員会 石井 一生

issei@pingplan.com



振興会ではバスケットボールの日をお祝いする行事に賛同して 2011 年から、「バスケットボールの日！委員会」に協力してきたが、2015 年からその協力の度合いを大きくしている。

宣伝用垂れ幕の作成や、それらを各体育館、各大会会場に掲示していただけるよう交渉、代々木第二体育館の確保や財政的援助など普及部を中心に支援を行っている。

当然のことながら J B A にもこれらの趣旨をご理解いただき、バスケットボールの日が更に周知され、より多くのバスケットボールファンに浸透するようこれからも活動していくことにしている。



事務局だより

◇ご寄付の御礼

本年度も下記の方々から会費以外に多大のご寄付を賜り、誠に有難うございました。誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。
(理事長)

ご寄付を賜った方々（敬称略、50音順）

阿部 進	稲垣安二	大関由美子	大野龍一	小笠原義昭
小澤正博	加藤友子	黒川敏雄	小山ひろみ	榊原みどり
佐藤精孝	佐室有志	渋谷美由紀	清水英邦	杉山絹枝
高田洋子	都崎修男	寺田生男	徳永寿美	並木 浩
宮崎和子	山口憲一	山崎博明	吉田公子	渡利登美子

◇第9回全国シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI

平成28年度の大会は、平成28年5月31日（火）～6月1日（水）に代々木第二体育館で開催いたします。本年も男子60歳以上／女子50歳以上／男子70歳以上の試合を行いますので積極的にご参加ください。

参加条件は下記の通りです。

- (1) 男子60歳以上、女子50歳以上で1チーム8名以上の構成（含む70歳以上）
- (2) 当該チームに振興会会員が3名以上含まれること（参加資格）
- (3) 参加費 25,000円／チーム
- (4) 原則として各チームとも2試合を行う
組み合わせ、試合時間は主催者責任にて決定する
- (5) 懇親会

5月31日 夕刻より参加者と振興会会員による懇親会を開催する

渋谷センター街バスケットボールストリートのイタリア料理店

「ヴェントゥーノ」にて 会費 5,000円予定

参加を希望されるチームは3月末日までに振興会事務局へメール、FAX、電話にてご連絡ください。なお、参加希望チームが多すぎた場合は抽選にて参加チームを決定します。

事務局連絡先（火曜日、木曜日） TEL／FAX 03-3219-9311

MAIL sinkokai@jbbs.jp

プラザ こぼればなし

- ◇ 1月下旬、バスケット仲間と伊東市モニターツアーに参加したとき、旅館の大浴場でシャンソン化粧品が審判を提訴した話が出た。結局のところ日頃のリーグ戦での判定などの恨みが出たのだろうと湯船の中で暢気に話し合った。翌日の全国紙静岡版にタイミング良くシャンソン化粧品の記事が出ていて「原因究明」、「再発防止」が提訴の理由と強調していたが、審判の判定、処置について裁判沙汰になったことは過去に例を見ない。審判は競技規則やオフィシャルハンドブックに忠実に従って判定、処置を行うものであり、今回のことは残念としかいいようがない。
- ◇ ウィンターカップ男子では、和歌山国体優勝茨城県チームの主体となった土浦日大が、199cmの超高校級の平岩選手に、185cm 2枚と193cm 1枚を加えた陣容で確実にシュートを決め、大量得点で勝ち進んだ。土浦日大は、決勝でも男子総体1位の明成にシーソーゲームで第3ピリオドまでリードしながら、最後は明成の厳しいディフェンスによりイーギーショットを連続して落として5点差で敗れたが、この決勝戦は男子バスケの将来を明るくする盛り沢山の話題を残した名勝負。
- ◇ ウィンターカップ女子では、高校総体2位の岐阜女子が、王者桜花学園に前半で12点のビハインドを負いながら終盤残り時間2分を切ってから、動きの激しいディフェンスで桜花学園の3Pシュートを抑え、5点差で優勝した。決勝まで激しく厳しいディフェンスで相手チームを低得点に抑えてきた桜花学園に対して、最後にコートを走り回るオフェンスでチャンスを作り、シュートを確実に決めて優勝した岐阜女子は称賛に値する。
- ◇ オールジャパン男子では、ベスト4が拮抗し、何れが優勝してもおかしくない状況であったが、アイシンのチームワークが他チームに勝っていた点で、全てのチームに最後は完勝している。アイシンは桜木選手が鈴木貴美一ヘッドコーチと選手の間を纏めチームが一丸となっているとのこと、これからのリーグ戦を注視すると共に日本代表チームにも好影響を及ぼすものと期待する。
- ◇ オールジャパン女子では、JX-Eneosが日本を代表する渡嘉敷選手、間宮選手、吉田選手を擁して突出しており、準優勝以下の3チームが拮抗する現状である。この大会後に再開されたリーグ戦で、JX-Eneosは第1ピリオドダブルスコアに拘わらず富士通のゾーンディフェンスを攻め倦んで第4ピリオドの4点差で敗れた。トヨタ自動車戦は、渡嘉敷選手の欠場があったがシーソーゲームの末1点差で敗れている。トーナメントとリーグでは戦い方に相違があるのは理解できるが、JX-Eneosは、日本トップチームとしての誇りを持って打ち勝ってもらいたいと願う。

NPO法人
日本バスケットボール振興会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-40
豊明ビル 301号室
電話／FAX (03) 3219-9311
メール sinkokai@jbbs.jp



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のない、ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして

常に完璧な製品づくりを目指しています。





野菜・食材だけでなく 白髪染めも安心なものを

植物原料100%から生まれた
自然派の白髪染め&トリートメント

化学の力に頼らず安心して白髪を染めることが出来る。
自然界には天然の色素を持つ植物が沢山存在します。
ヘナがその代表的な植物であり、天然の染色力を持っただけでなく、素晴らしいトリートメント効果をあわせ持ちます。頭皮と髪を傷めずに美しく艶やかに染められるのが大きな特徴です。

白髪染め + 潤い・ツヤ + ハリ・コシ



グリーンノートヘナ・ヘナスーパー

オレンジブラウン ...1500円+税
ライトブラウン・ナチュラルブラウン ...1600円+税
スーパーブラウン（早染め） ...2200円+税

オーガニータ（エコサート認証ヘナ）

ビターオレンジ・ノンカラー ...1800円+税
サハラブラウン・アースブラウン・ディープブラウン ...2300円+税
ノンカラー ...1600円+税

株式会社 グリーンノート ☎ 03-3366-9701 詳しくは公式サイトをご覧ください ▶▶ <http://www.henna.co.jp>

横浜中華街 世界チャンピオンの肉まん

皇朝点心舗



1個100円(税込)

※各種お土産取扱店

楽R天
YAHOO! JAPAN
第1位 第2位

世界チャンピオンの肉まん
WORLD CHAMPION GYOZA
NIKKEI プラス1
なんでもランキング



皇朝レストラン

ぐるなび
2017年最優秀
食べ放題レストラン部門で
栄冠を手にした
第1位 第2位

時間無制限!

食べ放題

120種以上 1,990円~ (税込)
※点心飲茶



王朝 (担担麵)



中華街初、こだわり健康担々麺! 特製ツカメ練り込み麺使用の担々麺をはじめ、
お料理 50 種以上、麵・ご飯 20 種以上、お酒 20 種以上をご用意!

